

# 彙 報

研究活動等 (2023年1月～2023年12月) (学科別五十音順)

## 総合政策学科

石山 宏

### 1. 著書・論文等

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記〈2023年度版〉』(共著)中央経済社、2023年3月。
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈第9版〉』(共著)中央経済社、2023年3月。
- (3) 「新勘定科目管見―収益認識会計基準における新勘定科目の検討―」『山梨国際研究』、2023年3月。
- (4) 「ポイント制度に関する収益認識」会計理論学会第38回全国大会(大東文化大学)スタディグループ(代表:岩崎勇)『収益認識についての総合的研究―最終報告書―』第2部第15章。
- (5) 「役務提供取引に関する収益認識―海運業を題材として―」会計理論学会第38回全国大会(大東文化大学)スタディグループ(代表:岩崎勇)『収益認識についての総合的研究―最終報告書―』第2部第19章。

### 2. 学会発表

「収益認識についての総合的研究」(共同研究/最終報告)会計理論学会第38回全国大会(大東文化大学)。

### 3. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員。
- (2) 「ビジネス・キャリア検定試験」試験委員、中央職業能力開発協会。
- (3) 「Excel会計スペシャリスト」試験準備委員、オデッセイコミュニケーションズ株式会社。
- (4) 出前授業「人生を豊かにする『会计学』」山梨県立甲府西高等学校。

熊谷 隆一

### 1. 社会的活動等

- (1) 識者談話(単独)  
「県人口 43年ぶり80万人割れ」(YBSテレビ「YBSワイドニュース」2023年2月28日放送)
- (2) 識者談話(単独)  
「市川三郷町 財政悪化の根幹は」(YBSテレビ「YBSワイドニュース」2023年9月22日放送)
- (3) 識者談話(単独)  
◇平成の大合併20年まちの現在地  
〈1〉財政悪化「非常事態宣言」も特例債頼み「ツケ」重く(『山梨日日新聞』2023年11月16日付)
- (4) 識者談話(単独)  
◇平成の大合併20年まちの現在地  
〈4〉小規模地区で議員「空白」住民の声伝わりにくく(『山梨日日新聞』2023年11月21日付)
- (5) 識者談話(単独)  
◇平成の大合併20年まちの現在地  
〈7〉山梨県立大・熊谷隆一教授に聞く  
未来考えた行動が大切(『山梨日日新聞』2023年11月28日付)
- (6) 高大連携  
「令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業」  
運営指導委員(2022年4月～2023年3月)
- (7) 評価委員  
地方独立行政法人山梨県立病院機構評価委員(2023年4月～)
- (8) 社会的活動(学会評議員)  
自治体学会評議員(地域選出)(2016年8月19日～、再選・継続)

- (9) 社会的活動(研究所理事)  
(公社)神奈川県地方自治研究センター理事(2019年4月～、継続)
- (10) 社会的活動(学会常務理事)  
富士学会(2021年4月～、継続)

of Japan, Inter noise 2023, 2023年8月23日,  
千葉.

## 松井亮太

### 1. 学会発表

- (1) 松井亮太「不合理な原子力の世界と安全の新しい形」第22回失敗学会年次大会(於・東京大学)、2023年12月16日(招待講演)

### 2. 外部資金による研究活動

- (1) (研究代表者) 科学研究費助成事業 若手研究21K14380「福島事故前の原子力関係者・地元関係者等のヒアリング調査を基にした質的データ分析」2021～研究継続中
- (2) (研究分担者) 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)22K18444「人工物を介した志向性と責任概念の変容に関する研究」2022～研究継続中
- (3) (研究分担者) 科学研究費助成事業 基盤研究(C)22K01727「計画と実行との乖離に関する心理学的研究」2022～研究継続中

## 箕浦一哉

### 1. 学会発表

- (1) 石場優花、杉山歩、箕浦一哉、安藤勝洋、徳永達己、中山間地域における水を介した人間と自然の共創サービスの提案、サービス学会第11回国内大会、2023年3月8日、京都.
- (2) Daimon S., Minoura K., Kaneko K., A Soundscape of Sea Waves and Collaborative Action Research : The Case of the Nami kozo Folktale of the Enshu nada Sea, Japan, Conference of the World Forum for Acoustic Ecology, 2023年3月23日, フロリダ.
- (3) Minoura K., Daimon S., Kaneko K., Soundscape conservation policy focusing on the active listening : An examination based on the case of the Enshu nada Sea

## 国際コミュニケーション学科

### 伊藤ゆかり

- (1) 単著(2023年3月)「『この平らな地球』における暴力の痕跡」、山梨県立大学国政策学部紀要『山梨国際研究』第18号、pp.33-42

#### 1. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費基盤研究C、研究代表者、2023年度新規採択、課題名「大量死と隔絶の脅威に対抗する記憶と共有の演劇に関する総合的研究」

#### 2. 社会活動

- (1) 公益財団法人やまなし文化学習協会評議員  
(2) 公益財団法人山梨鈴木助成事業財団評議員

### 賀南

#### 1. 論文

- (1) (共著) 馬叢慧、賀南「言語学習ゲームを導入した教室活動の実践—協同学習による初級中国語文法の総合応用を例に一」日中言語文化教育推進会『日中言語文化』第17号、pp.63-82、2023年12月(科研JP21K00682)

#### 2. 外部資金による研究活動

- (1) (研究代表者) 科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)21K00682「中国語教育文法に基づくタスク中心型言語学習ゲームを取り入れた初級教材の開発と効果」2021～研究継続中(研究分担者:馬叢慧、下関市立大学)

#### 3. 社会貢献

山梨県大規模小売店舗立地審議会委員

### 高野美千代

#### 1. 研究論文等

- (1) 論文〔単著〕「プリズン文学としての『天路歷程』—投獄と解放の記録」、掲載雑誌『山梨国際研究』、18号、43-51、2023年3月  
(2) 学会発表  
日本英文学会第95回大会シンポジウム「17世紀英国好古学とブリティッシュ・アイデンティティの探求」司会、および「紋章

官 Sir William Dugdaleの好古学者的精神」口頭発表

#### (3) 他(プロシーディングズ)

「紋章官 Sir William Dugdaleの好古学者的精神」

日本英文学会第95回大会プロシーディングズ <https://www.elsj.org/backnumber/proceedings2023/proceedings-2023-takanomichiyo.pdf>

### 張兵

#### 1. 論文

- (1) 「『開封府奉旨勘問犯賓于三省申由疏稿』輯校」(共著) 王漁洋文化研究センター『王漁洋文化』第40期2023年5月  
(2) 「開封府郷民立生祠呈稿」(単著) 王漁洋文化研究センター『王漁洋文化』第40期2023年5月  
(3) 「基於城市多様性分析紐約倫敦最新中長期戰略規画及啓示」(共著) 北京行政学院『新視野』(中国人文社会科学核心期刊、中国CSSCI来源期刊) 2023年第5期2023年9月  
(4) 「海外雄安新区學術研究的現状与展望:以日本學術界雄安新区研究為例」(単著) 燕山大学『第十三屆公共政策智庫論壇暨雄安新区建設与發展國際學術研討會論文集』2023年11月(中国知網電子版収録)

#### 2. 学会発表、その他

- (1) 「アフターコロナにおける国際交流について」『海外看世界』2023年3月29日  
(2) 「訪日遊客超過疫情前 中国遊客備受期待」『今日頭条』2023年12月4日  
(3) 「海外雄安新区學術研究的現状与展望」第十三屆公共政策智庫論壇暨雄安新区建設与發展國際學術研討會2023年11月26日燕山大学(対面とオンライン併用)

#### 3. 社会貢献

- (1) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長(2023年度)  
(2) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事(2023年度)

- (3) 日中関係学会宮本賞推薦委員 (2023年度)
- (4) 山梨学院大学国際共同研究センター非常勤研究員 (2023年度)
- (5) 第24回日中韓地方政府交流会議通訳、2023年10月16日～17日、山梨県北杜市ロイヤルホテル八ヶ岳

## 名和 敏光

### 【表彰等】

1. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2017年5月～現在。
2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。
3. 京都大学人文科学研究所共同研究班課題公募班 (一般A班)「中国生活文化の思想史」研究班班長、2023年4月～現在。

### 【著書】

1. 翻訳：黄徳寛著書・藪敏裕監訳『古漢字発展論』、樹立社、2023年10月、訳者：石川泰成・宮本徹・鋤田智彦・劉海宇・名和敏光。
2. 項目執筆：日本漢字学会編『漢字文化事典』、丸善出版社、2023年11月。

### 【学術論文・翻訳】

1. 名和敏光「第六章 戦国文字」、黄徳寛著書・藪敏裕監訳『古漢字発展論』、樹立社、2023年6月、397～530頁。
2. 名和敏光「虎溪山漢簡札記」、『世界漢字学会第九屆年會會議論文集』、世界漢字学会、2023年7月、635～649頁。
3. 名和敏光「虎溪山漢簡一例占術理論與綴合」、『「出土文献と漢字発展史」国際シンポジウム會議論文集』、清華大学出土文献研究与保護中心、2023年9月、51～62頁。
4. 名和敏光「帛書」「蔡倫以前の紙」、日本漢字学会編『漢字文化事典』、丸善出版社、2023年11月、2項目。

### 【学会報告・その他】

1. 名和敏光「虎溪山漢簡札記」、世界漢字学会第九屆年會、2023年7月5日、於韓国釜山慶星大学。
2. 名和敏光「虎溪山漢簡一例占術理論與綴合」、

「出土文献と漢字発展史」国際シンポジウム、2023年9月9日、於中国北京清華大学。

### 【獲得資金】

1. 研究代表者、日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)、研究課題番号：22K00057、研究分担者：末永高康 (広島大学教授)、武田時昌 (関西医療大学教授)、小倉聖 (東京学芸大学研究員)、総額：4,160千円)、「中国古代術数学における占術と儀礼」、2022年4月～2025年3月。(継続)  
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K00057/>参照。
  2. 研究分担者、日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (B)、研究課題番号：22H00606、研究代表者：大形徹 (立命館大学教授)、総額：14,300千円)、「東アジア漢字文化圏の疾病・疫病観の史的・現代的展開：鬼系病因論の起源と思想的水脈」、2022年4月～2025年3月。(継続)  
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22H00606/>参照。
  3. 班長、京都大学人文科学研究所共同研究班課題公募班 (一般A班)「中国生活文化の思想史」研究班 (総額：3,000千円)、2023年4月～現在。(新規)
- ### 【学会役員・その他】
1. 中国出土資料学会理事、2016年4月～現在。
  2. 日本道教学会理事、2020年1月～現在。
  3. 日本漢字学会評議員、2020年11月～現在。
  4. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。  
<https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group/group.php?id=E1-4>参照。
  5. 京都大学人文科学研究所共同研究班課題公募班 (一般A班)「中国生活文化の思想史」研究班班長、2023年4月～現在。

## 萩原 孝恵

1. 研究論文  
(1) 萩原孝恵 (2023) 「I-JASにみるフィラー

の比較—ベトナム人学習者、タイ人学習者、日本語母語話者の場合—」『山梨県立大学国際政策学部 紀要』18:53-65、単著.

- (2) 西部由佳、岩佐詩子、奥村圭子、金庭久美子、坂井菜緒、萩原孝恵 (2023)「日本語インタビューテストにみられるメタ言語表現の分類とその役割—上級・超級韓国語母語話者に着目して—」『2023年度日本語教育学会秋季大会予稿集』231-235、共著.

## 2. 研究発表

- (1) 萩原孝恵、Chomnard Setisarn、Yuphawan Sopitvutiwong、池谷清美「タイ人の微笑みは異文化コミュニケーションの不思議？」(科研JP19K00580)、タイ国日本語教育研究会第35回年次セミナー分科会、2023.03.18、共同.
- (2) 萩原孝恵「ストーリーテリングとジェンダー—I-JASにおける日本語母語話者の発話分析—」第26回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (17th EAJS International Conference)、2023.08.19、単独.
- (3) 西部由佳、岩佐詩子、奥村圭子、金庭久美子、坂井菜緒、萩原孝恵「日本語インタビューテストにみられるメタ言語表現の分類とその役割 —上級・超級韓国語母語話者に着目して—」2023年度日本語教育学会秋季大会、2023.11.26、共同.

## 3. 研究助成

- (1) 研究代表「言語文化に起因する価値観とフェイスが表出する『舌打ち』と『笑い』の実証的研究」科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般) 19K00580、2019～研究継続中.

## 4. 地域実践事業調査報告および実践事業

- (1) 萩原孝恵、池田充裕 (2023)「外国人児童生徒のための教育支援とキャリア支援—山梨県内の教育委員会へのアンケート調査から—」『山梨県立大学国際政策学部紀要』18:67-73、山梨県立大学地域研究交流センター 2021年度地域研究事業調査報告、共同.
- (2) 代表「やまなし多言語高校進学ガイダンス—ロールモデルと話して未来を描いてみよ

う—」山梨県立大学地域研究交流センター地域実践事業、2023.

## 5. 社会活動

大学日本語教員養成課程研究協議会理事、山梨県地域日本語教育推進会議委員、甲府市多文化共生推進委員会委員、外部査読等